

演劇・ダンス事業

市田京美 コンテンポラリーダンスワークショップ
～ピナを巡って 2019～

20 世紀後半の演劇とダンスの歴史を塗り替えた、天才振付家・ピナ・バウシュの世界を学ぶ

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、当センターのご利用および企画運営にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この度、神戸アートビレッジセンター演劇・ダンス事業にて「市田京美 コンテンポラリーダンスワークショップ～ピナを巡って 2019～」を開催する運びとなりました。

演劇とダンスの境界線を取り払った”ダンスシアター”という独自の様式を生み出し、2009年にこの世を去った振付家／舞踊家・ピナ・バウシュ。その舞台では、ダンサーたちは踊るだけでなく、時には話し、歌い、泣き叫び、笑い転げるなどその独創的な演出はこれまでに無い画期的なものでした。この型破りな作品は、国境を越えて、多くの人々に受け入れられ、やがて世界中の振付家たちを感化し、舞台とバレエの双方に多大な影響を及ぼしました。

今回のワークショップでは、故ピナ・バウシュが率いたブッパタル舞踊団に、日本人初のダンサーとして20年にわたり参加したダンサーの市田京美さんを講師にお迎えし、ピナ・バウシュがトレーニングに用いたクルト・ヨースのテクニックをはじめ、ピナ・バウシュ作品の振付を実践することにより、市田さんがピナ・バウシュから受け取った大切なものを体験いただけます。本ワークショップは、1日のみでも受講可能となっています。過去に参加した方や連続受講の方への技術面のステップアップも目的の一つとしています。一度だけではなく、何度も繰り返すことによって身につくテクニックを通し、身体を動かすための動機や、“踊る”ということの根源的な意味を学ぶことができます。

つきましては、本企画をぜひ貴社媒体にてご紹介頂きたく、情報掲載のご協力を頂けますようお願いいたします。ご多用中のことと存じますが、この機会に本企画の告知にご協力をいただけますようお願い申し上げます。

敬具

「市田京美 コンテンポラリーダンスワークショップ
～ピナを巡って 2019～」

日時：2019年4月

27日（土）、28日（日）18:00～21:00

29日（月・祝）14:00～17:00

会場：神戸アートビレッジセンター リハーサル室2

料金：3日間通し8000円、1日のみ3000円

定員：各日20名程度※基本的にダンス経験不問

クラス内容：※各日とも

[前半] テクニカルクラス

ピナ・バウシュの恩師・クルト・ヨーステクニックを学びます。

[後半] アトリエクラス

ピナ・バウシュ作品の中からの振り写しを実践します。

申込み：電話（078-512-5500）、メール（stage@kavc.or.jp）、または問い合わせフォームよりお申し込みください。

メール、フォームからのお申込みの際は、「市田京美ダンスワークショップ申込」と明記の上、【お名前／フリガナ／年齢／性別／電話番号（連絡のつきやすいもの）／参加希望日／ダンス経験（なるべく詳しく）】をお送りください。



ブッパタル舞踊団での活動当時の様子

会場・お問合せ：神戸アートビレッジセンター（担当 大泉）

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356

演劇・ダンス事業

市田京美 コンテンポラリーダンスワークショップ
～ピナを巡って 2019～

講師プロフィール

市田京美

大学卒業後、大阪市立中学校教師を1年勤めロンドンへ留学。

ロンドンのランバート・バレエ・スクールに2年間在籍後、ドイツのエッセンにある現folkヴァング芸術大学舞踊学科のダンスグループに4年半所属。1982年ピナ・バウシュ率いる ヴッパタル舞踊団に入団。1998年退団後も2002年までゲスト出演。以降はフランスに移り、トーマス・デュシャトレ・ダンスカンパニーにてバレエ・ミストレスとして活動。

日本では2002年以降、定期的に東京・名古屋・神戸等でワークショップを開催している。



ヴッパタル舞踊団での活動当時の様子



これまでのダンスワークショップの様子

会場・お問合せ：神戸アートビレッジセンター（担当 大泉）

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356